

令和4年7月6日

2022年第1回東海学連臨時総会 議事録

出席者

出席 10 名

幹事長、競技部長、広報、会計、事務局、名大、相山、静大、名工大、愛知県立大、名古屋大学大学院

欠席 0 名

2022年度インカレスプリント東海学連代表選手の選抜について

◎臨時総会を開いた理由

7月2日に行われた東海学連スプリントセレクションにおいて、競技のルール上失格になってしまった参加者が続出した（全体の7割以上）。その後、関西学連と北信越学連で各地区のインカレスプリント選手権クラスの選考に7/2 スプセレの結果を用いるかについて、臨時総会が開かれ議論されると聞き、その結論によっては東海学連内でも不満の声が多く上がることが考えられた。また、すでに一部から7/2 スプセレの結果を代表選手選抜に用いるべきではないという声も東海学連内で見られたため、今回の臨時総会を開き、説明することにした。

◎議題

- ・インカレスプリント東海学連代表選手(推薦、特別措置者を除いて)の選抜として7/2 スプセレの結果のみを用いるか

◎この議論の前提

6/22 に東海学連の HP に公開された<2022年度インカレスプリント選手権出場者選考について>において、推薦者及び特別措置者を除き、7月2日(土)開催 東海学連スプリントセレクション(あいち健康の森公園『あいち健康の森』)を東海学連のインカレスプリント選考会としてインカレスプリント選手権出場者を選抜することが明示されている。

7月2日には、東海学連スプリントセレクションは行われ、競技成立が決定している。

東海学連スプセレ運用規約8条には、「セレの不成立等でセレの結果が不適切と判断された場合の措置はセレクション前に総会にて決定しておかなければならない」という条文がある。これに関して事前に東海学連として何も決めていなかったのは学連側の不備

である。しかし、現段階で代替の選考方法を決め、別の代表選手を選出した場合、それは規約に則ったものでないため、それらの選手の代表としての証明はできないことになる。

実力があるのにセレで十分な結果を残せなかった選手やケガ等で出場できない選手は推薦という形で救済をするシステムが存在する。このことも6月22日に東海学連のHPに公開してある。今回DISQが大量発生したが、その中で諮問委員会が認める実績のある選手は男女1名までであればこのシステムを利用して救済されるはずである。

以上の前提から、以下の結論が考えられる。これについて議論する。

◎結論：7/2に行われた東海学連スプリントセレクションの結果をそのままインカレスプリント選手権出場者の選抜に用いるという結論が妥当であると考えられる。

○上の結論に対する反対意見

- ・他の学連が適切でないと判断した場合、不満の声が出るかもしれない。他の学連と足並みがそろわない可能性がある。

→東海学連としての決定を明確にし、加盟員に説明するためにこの臨時総会を開いているので問題はないのではないか

- ・事前に静岡大学の井土様から意見書が提出され、今回の議題に関わる意見であったためこの場で取り扱うことにする。

意見書の内容：東海学生オリエンテーリング連盟のインカレスプリント選手権競技者選抜の原則3条(4)により、セレクションの不成立を求める。以下、理由である。「選抜として適当なもの」というのは、インカレは学生ナンバーワンを決める大会であり、東海学連の実力者がセレクションを通過するようにするということである。当日、現地で明瞭でない立入禁止エリアに入って、失格となっているもので、立入禁止がかかわってくるまで、現状の上位8人よりも、大幅にタイムがよい人が大勢存在しており、今回の大会結果は実力が全然反映されず、ただ立入禁止エリアを避けられるかどうかという競技になってしまっている。

この意見書に対する意見

- ・競技が成立した以上、失格者が多いという理由で協議不成立にしてはいけない。
- ・立ち入り禁止区域を見極めるのも実力の範囲内である。
- ・失格者が多いからと言って、選抜大会にふさわしくないということはない。

この意見書の意見を採用するかどうか投票に移る

- ・井土様からの意見書について

この意見を採用し、7/2 スプセレをセレクション成立と認めない：0人

この意見を採用せず、7/2 スプセレをセレクション成立として認める：10人

棄権：0人

全会一致でこの意見書を却下。

○上の結論に対する賛成意見

・現時点で反対を主張している人は少ない。

◎インカレスプリント代表の選考方法について投票に移る。

7/2 スプセレの結果をそのままインカレ代表選考に用いる：10人

7/2 スプセレの結果をそのままインカレ代表選考に用いない：0人

棄権：0人

全会一致で7/2 スプセレの結果をそのままインカレ代表選考に用いることが決まった。

以上を東海学連として決定する。